参考資料1

R5 4 18

現状認識

国内外における情勢変化

新型コロナウイルス感染症の拡大

○ 目的化したデジタル化と相対的な研究力の低下

○ 世界秩序の再編の始まりと、科学技術・イノベーションを中核と する国家間の覇権争いの激化

○ 気候危機などグローバル・アジェンダの脅威の現実化

デジタル化は既存の業務の効率化が中心、その本来の力が未活用

論文に関する国際的地位の低下傾向や厳しい研究環境が継続

科学技術・イノベーション政策の振り返り

- ITプラットフォーマーによる情報独占と、巨大な富の偏在化
- サプライチェーン寸断が迫る各国経済の持続性と強靱性の見直し ○ 激変する国内生活

○ 科学技術基本法の改正

- テレワークやオンライン教育をはじめ、新しい生活様式への変化
- 科学技術・イノベーション政策は、自然科学と人文・社会科学を融合した 「総合知」により、人間や社会の総合的理解と課題解決に資するものへ

「グローバル課題への対応」と「国内の社会構造の改革」の両立が不可欠

我が国が目指す社会(Society 5.0)

国民の安全と安心を確保する持続可能で強靱な社会

【持続可能性の確保】

生きていける社会の実現

【強靱性の確保】

□ SDGsの達成を見据えた持続可能な地球環境の実現

ロ 現世代のニーズを満たし、将来の世代が豊かに

- 災害や感染症、サイバーテロ、サプライチェーン 寸断等の脅威に対する持続可能で強靭な 社会の構築及び総合的な安全保障の実現
- 【経済的な豊かさと質的な豊かさの実現】 ■ 誰もが能力を伸ばせる教育と、それを活かした多様な働き方を可能とする労働・雇用環境の実現

一人ひとりの多様な幸せ(well-being)が実現できる社会

- □ 人生100年時代に**生涯にわたり生き生きと社会参加**し続けられる環境の実現
- □ 人々が夢を持ち続け、コミュニティにおける**自らの存在を常に肯定し活躍**できる社会の実現
- この社会像に「信頼」や「分かち合い」を重んじる我が国の伝統的価値観を重ね、Society 5.0を実現

国際社会に発信し、世界の人材と投資を呼び込む

Society 5.0の実現に必要なもの

サイバー空間とフィジカル空間の融合に よる持続可能で強靭な社会への変革

○ 国際社会の大きな変化

新たな社会を設計し、 価値創造の源泉となる「知」の創造

メ 新たな社会を支える人材の育成

「総合知による社会変革」と「知・人への投資」の

好循環

Society 5.0の実現に向けた科学技術・イノベーション政策

- ▶ 総合知やエビデンスを活用しつつ、未来像からの「バックキャスト」を含めた「フォーサイト」に基づき政策を立案し、評価を通じて機動的に改善
- ▶ 5年間で、政府の研究開発投資の総額 30兆円、官民合わせた研究開発投資の総額 120兆円 を目指す

■ 国民の安全と安心を確保する持続可能で強靱な社会への変革

(1)サイバー空間とフィジカル空間の融合による新たな価値の創出

- 政府のデジタル化、デジタル庁の発足、データ戦略の完遂(ベースレジストリ整備等)
- Beyond 5G、スパコン、宇宙システム、量子技術、半導体等の次世代インフラ・技術の整備・開発
- (2)地球規模課題の克服に向けた社会変革と非連続なイノベーションの推進
 - カーボンニュートラルに向けた研究開発(基金活用等)、循環経済への移行
- (3)レジリエントで安全・安心な社会の構築
 - 脅威に対応するための重要技術の特定と研究開発、社会実装及び流出対策の推進
- (4)価値共創型の新たな産業を創出する基盤となるイノベーション・エコシステムの形成
 - SBIR制度やアントレ教育の推進、スタートアップ拠点都市形成、産学官共創システムの強化
- (5)次世代に引き継ぐ基盤となる都市と地域づくり(スマートシティの展開)
 - スマートシティ・スーパーシティの創出、官民連携プラットフォームによる全国展開、万博での国際展開
- (6)様々な社会課題を解決するための研究開発・社会実装の推進と総合知の活用
- 総合知の活用による社会実装、エビデンスに基づく国家戦略※の見直し・策定と研究開発等の推進
- ムーンショットやSIP等の推進、知財・標準の活用等による市場獲得、科学技術外交の推進 ※AI技術、バイオテクノロジー、量子技術、マテリアル、宇宙、海洋、環境エネルギー、健康・医療、食料・農林水産業等

■ 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化

- (1)多様で卓越した研究を生み出す環境の再構築
 - 博士課程学生の処遇向トとキャリアパスの拡大、若手研究者ポストの確保
 - 女性研究者の活躍促進、基礎研究・学術研究の振興、国際共同研究・国際頭脳循環の推進
 - 人文・社会科学の振興と総合知の創出(ファンディング強化、人文・社会科学研究のDX)
- (2)新たな研究システムの構築(オープンサイエンスとデータ駆動型研究等の推進)
 - 研究データの管理・利活用、スマートラボ・AI等を活用した研究の加速
- 研究施設・設備・機器の整備・共用、研究DXが開拓する新しい研究コミュニティ・環境の醸成
- (3)大学改革の促進と戦略的経営に向けた機能拡張
- 多様で個性的な大学群の形成(真の経営体への転換、世界と伍する研究大学の更なる成長)
- 10兆円規模の大学ファンドの創設

一人ひとりの多様な幸せと課題への挑戦を実現する教育・人材育成

探究力と学び続ける姿勢を強化する教育・人材育成システムへの転換

- 初等中等教育段階からのSTEAM教育やGIGAスクール構想の推進、教師の負担軽減
- 大学等における多様なカリキュラムやプログラムの提供、リカレント教育を促進する環境・文化の醸成